

温かな日差しに、春を感じられるようになりつつある「今日」という日に、僕たちは無事こうして卒業を迎えることが出来ました。

今、この場所に立ち、目を閉じると、平和中学校で過ごした様々な思い出がよみがえってきます。

慣れない制服にぎこちなく袖を通し、迎えた入学式。僕たちよりも堂々として大人びた先輩方に憧れを抱きながら、中学校生活がスタートしました。

やることなすこと初めての中で過ごした一年生。体育祭や合唱祭では、先輩方の熱意や迫力に圧倒されっぱなしでした。それでも様々な活動を通して仲間との絆を深め、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ようやく学校にも慣れた頃、僕たちは進級し、先輩となりました。二年生での一年間は、「何事にも全員で取り組み、成し遂げる」ことを大切にしてきました。その時々において、自分達の課題は何か、またそれをどうやって解決すべきかを、学年全員で話し合い、実践していくことで、さらに大きく成長を遂げることができました。

特に合唱への取り組みにおいては、自分達で考え、工夫することを大切にして取り組み、よりよいものを創り上げるための努力を積み重ねました。最高学年への進級を控えた三月には、学年全員で話し合いを重ねた結果、後輩に向けて合唱を披露することにしました。短い期間での練習でしたが、クラスで強弱や歌い方にこだわり抜き、納得のいく合唱を創り上げることができました。仲間と共に一つのを創り上げられた達成感や、最高学年進級への手応えを強く感じたあの日の喜びは、今も忘れることができません。

そして迎えた最高学年のスタート。この一年間では、全ての活動が中学校最後の活動となりました。その意味を一人ひとりが受け止め、行事や日常生活など、様々な場面を大切にして全力で駆け抜けてきました。

たくさんのことを学んだ修学旅行。広島では平和祈念集会を行い、平和への願いを胸に最高の合唱を披露することができました。憧れ続けた先輩方の合唱にも決して劣らない、心を一つにした合唱に、僕たちは大きな満足感を感じました。

熱く照りつける太陽のもと、全力で戦った体育祭。この体育祭では「全員で」という言葉にこだわり、全校一丸となってやりきることができました。一致団結して勝利を目指す中で生まれた熱い声援や、健闘をたたえ合うさわやかな言葉は、今も耳に残っています。

最高学年としての誇りを、姿と声で示した合唱祭。広島での合唱よりもさらにレベルアップしたものを目指し、それまで以上に熱意をもって取り組み事ができました。本番では心が一つになった合唱を披露することができ、僕たちにとつて最高の思い出となりました。

最高学年として過ごしたこの一年間でがんばってきたことは行事ばかりではありません。生徒会活動では、これまでの先輩方が築いてくださった伝統を受け継ぎながら、新しいことにも挑戦してきました。自分達の課題を見直し、今までにない新しいキャンペーン活動を行ったり、学年を超えたつながりを意識した活動を行ったりしてきました。取り組み方を工夫したり、後輩の皆さんが協力してくれたりし

た結果、最後のキャンペーンでは悲願であった全校オール〇をついに達成することができました。

このように、様々な活動を通して、自分達なりに成長できた僕たちでしたが、それは決して自分達のみではありません。

委員会活動や部活動、様々な行事で共に活動し、僕たちを支えてくれた一・二年生の皆さん。僕たちがやろうとすることに協力し、支えてくれる皆さんは本当に頼もしかったです。そんな皆さんなら、平和中学校の未来を安心して託すことができます。先輩方から受け継ぎ、僕たちと皆さんとで、共に築いてきた平和中の伝統を、今度は皆さんが次の世代へつなげていってください。

毎日、僕たちを一番近くで支えてくださったお父さん、お母さん。これまでに、数え切れないほどのご心配やご迷惑をおかけしましたが、そんな僕たちをこれまでずっと育ててくれて本当にありがとうございます。まだまだ未熟な僕たちは、これからご心配やご迷惑をおかけするかもしれませんが、よろしく願います。

この三年間、僕たちと常に真剣に向き合ってくくださった先生方。いつも温かく見守り、時には厳しく指導してくださったおかげで、僕たちはここまで成長することができました。三年間、本当にありがとうございます。

そして何よりも、今ここに一緒に立っている仲間たち。今思えば僕たちみんなが巡り会えたこと、共に三年間をがんばれたこと、それら全てが夢のような出来事でした。まだまだ一緒に楽しい夢を見たい。そんな気持ちもありますが、これからはそれぞれの道を歩まなければなりません。不安なこともあります。共に過ごした三年間で得た力があればきつと何事も乗り越えていけるはず。そして大人になった時には、それぞれが自分の夢を叶え、自信と喜びにあふれた表情で再会できますように。

振り返れば僕たちはこの三年間、人に恵まれ、環境に恵まれた中で充実した日々を送ってきました。成し遂げてきたこと、成長できたこと。その全てが自分達だけでは創り上げることのできない素晴らしいものでした。

正直な気持ちを言えば、三年間を過ごしたこの温かい「巢」から離れていくことは寂しくもあります。皆さんが支えてくださっている安心感は何事にも代えがたい喜びでした。しかし、僕たちの行く手にはまだ見ぬ果てしない世界が広がっています。今日、この日から僕たちは光り輝く未来へと向けて飛び立ちます。一人ひとりがこれからの人生に大志を抱いて。

僕たちは決して忘れないでしょう、この素晴らしい経験の数々を。

平和中学校での三年間、さらには義務教育の九年間で学んだことの全てが、この先に待ち受ける苦難から、きつと僕たちを守ってくれるのですから。

最後にもう一度、感謝を込めて、

ありがとうございます。

令和元年度卒業生

代表